2019 年度 大気中水銀バックグラウンド濃度等のモニタリング調査結果について

The Knights

環境省では、国内の水銀対策に資するため、国内の発生源よる影響を直接受けにくい地点（沖縄県辺戸岬、秋田県男鹿半島）において、水銀の大気中濃度等のモニタリング調査を実施し、2019 年度の結果の発表を行いました。

調査結果は沖縄県辺戸岬、秋田県男鹿半島ともに大気中水銀濃度及び降水中水銀濃度が指針値等を十分に下回り、これまでの調査結果との乖離は有りませんでした。

大気中の形態別水銀濃度の合計の年平均値は辺戸岬において 1.7 ngHg/m3、男鹿半島において 1.5 ngHg/m3 であり、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（年平均値 40 ngHg/m3）を十分下回る値でした。

また、降水中の水銀濃度の年平均値は辺戸岬において 5.6 ngHg/L、男鹿半島においては 6.0 ngHg/L でした。降水中の水銀濃度の指針などはありませんが、水銀に関する水質汚濁に係わる環境基準値 0.0005mg/l（500ngHg/l）に較べても低い値となっています。

当社では、水銀をはじめとした有害金属の環境分析、作業環境測定などにおいて、長年の実績があります。お気軽にお問い合わせください。

資料 2020 年 10 月 2 日付　環境省報道発表資料

分析技術箇所　櫻内大介

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590　FAX.048-886-2817
URL：www.knights.co.jp

基準の遵守、測定頻度は管理できていますか？
工場や家庭からの排出水には法律による規制があります。放流先や排水量、取り扱っている物質によっても様々です。
これらについて、適切に当社がサポート致します。
詳しくは下記URL、右記QRコードからもご覧いただけます。
http://www.knights.jp/ana/water/drain_index.html
お問合せはこちら